

基本情報



【年齢】
32歳
【出身地】
大阪府箕面市
【転出元】
大阪府箕面市
【前職】
会社員
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃からものづくりに興味があったことや、豊岡市城崎町へ旅行した際に出会った「麦わら細工」の魅力に引き込まれたことをきっかけに、大阪から城崎へ通いながら麦わら細工について学んでいました。

通いながら技術だけでなく歴史や文化、城崎の暮らしに触れ「城崎で麦わら細工をやっていきたい。本格的に学びたい」という思いが強くなっていたところ、豊岡市が「麦わら細工」の技術継承の地域おこし協力隊を募集すると聞いて応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

作業療法士の資格を持っていることから、麦わら細工職人との両立を図りつつ、将来的には「城崎で自分の麦わら細工のお店を持つ」ことができるように日々頑張っています。何年かかるかわかりませんが、今は師匠の元で学び、技術を磨き、麦わら細工の歴史を繋いでいきたいです。

活動内容

●麦わら細工の製作

麦わら細工は、江戸時代から続く城崎の伝統工芸です。乾燥させた大麦の節を切り、ストロー状の茎を染色して割り開き、桐箱などに張り詰め、花鳥や幾何学模様を描きます。ごはんを練った糊や日本剃刀など昔ながらの道具を使い、すべて手作業で製作します。大麦のわらでつくられる細工は、絹のように滑らかな手触りと上質なツヤが特徴的です。

麦わらは、紙と違って繊維の方向によって思うように切るのが難しいところがあります。直線的な模様でも下書きに沿ってぴたり切るのは難しく、曲線を切り出すことはさらに繊細な技術を要します。

また麦わらの特徴として、同じ色でも繊維の方向を変えて張ると色の見え方が変わります。その特徴を活かした模様は唯一無二の魅力だと思っています。



●「麦わら細工」の体験指導

主に城崎温泉を訪れる観光客向けに、麦わら細工のしおりや小物入れなどの製作体験の指導も行っています。城崎温泉は、国内だけでなく海外からも多くの観光客が訪れる温泉街で、“旅の思い出”を作ることができる麦わら細工の製作体験は人気があります。

外国人の方にもしっかりと指導できるように、英語の勉強などにも励んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) straw.kinosaki@mugi-fuku.com(個人)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram : tomk4737

